

男女共同参画社会は、誰もが心豊かにいきいき暮らせる社会です！

家庭では

・男性も家事・育児などに参加し、家族全員が協力し助け合ってください。



- 自分の出来る事は自分で、出来ない事は周囲の人が手助けすることが大切です。
- 家事・育児・介護を女性に任せるのではなく、家族ぐるみでの協力が必要です。

学校では

- ・あらゆる場面で、「男女共同参画」の視点に立った教育が行われます。
- ・性別にとられないで、一人一人の個性を伸ばす教育が行われます。



- 小・中学校での教育は、子どもたちの人格形成に大きな影響を与えることから、小・中学校での「男女共同参画」の視点に立った教育は、重要です。

地域では

・女性も男性も高齢者も若者も、みんなが自治会などの地域活動やPTA活動、防災活動に参画し、暮らしやすい地域を作ります。



- 地域の課題について、住民の意思と責任で解決していくことが求められていきます。その地域の課題を考えるときには、常に男女共同参画の視点が必要です。
- 子どもたちや高齢者のことも家庭内だけのことと考えず、地域ぐるみや制度で支え合い、みんなが助け合うことで暮らしやすい地域が実現します。

職場では

- ・自分の意思によって、男女がかわりなく「人」として能力を発揮できる職場環境となっています。
- ・男性も働き方に対する考え方を考え、仕事中心から、家庭や地域活動とのバランスのとれた働き方をします。



- 女性の社会での活躍の機会が増える中、男性も家庭や地域社会に積極的にかかわることが必要です。そのためには、男女がともに職場における働き方を見直すことが必要で、企業も、従業員が時間や場所にとられない様々な働き方が選べるよう勤務形態を考えることが必要です。